

高田松原の再生に向けて



高田松原再生講座（第5回）の開催

第5回「高田松原再生講座」は終了しました。

たくさんのご参加、ありがとうございました。

▶ [第5回 開催報告はこちら](#)



▶ [ちらしの拡大 \(PDF\)](#)

陸前高田市は、震災復興計画に高田松原の再生を位置づけ、市民の総意として美しい松原を取り戻すことを希求しています。

NPO法人高田松原を守る会は、(一財)ベターリビング・(一財)日本緑化センターの支援を受けて市民による高田松原再生活動を推進しており、高田松原の歴史、文化、環境、地元とのつながり、さらに再生に必要な技術と知識を学び、松原再生活動のエネルギーを持続し、次世代へ再生活動を継承することを目的に、本講座を2014年度から毎年開催しています。

この講座を通して、市民の皆様の松原に対する一層の理解と2017年度から始まった松原の植栽・保育活動の核となるボランティア育成に力を入れていきたいと考えています。

過去の開催

- ▶ 第1回（2015年） [講座の様子](#) / [プログラム](#)
- ▶ 第2回（2016年） [講座の様子](#) / [プログラム](#)
- ▶ 第3回（2017年） [講座の様子](#) / [プログラム](#)
- ▶ 第4回（2018年） [講座の様子](#) / [プログラム](#)



開催概要（第5回）

日時	2019年2月16日(土) 13:00~17:00 (開場 12:30)
場所	陸前高田市コミュニティホール 大会議室 (岩手県陸前高田市 高田町字栃ヶ沢210番地3)
主催	NPO法人高田松原を守る会、(一財)ベターリビング、(一財)日本緑化センター
後援	岩手県、陸前高田市、(一社)日本造園建設業協会岩手県支部、 陸前高田ロータリークラブ、日本海岸林学会、 (一社)日本樹木医会岩手県支部、(一社)日本松保護士会
協力	(公社)ゴルフ緑化促進会
参加費	無料 (定員100名、事前申込は不要です)

内 容	13:00	開会あいさつ
	13:10	平成30年度の活動報告 NPO法人高田松原を守る会
	13:25	ヤギによる除草効果 瀧 邦夫 (一財)日本緑化センター 理事
	13:35	講演 海岸林再生の原動力、地域力を高め結集する 野澤日出夫 NPO法人環境パートナーシップいわて 代表理事
	14:20	報告 名取市関上の海岸林再生の現状とこれから 大橋信彦 ゆりりん愛護会 会長
	14:40	報告 高田松原の再生事業地における植栽木の成長について 小野賢二 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所
		休憩
	15:15	「わたしの高田松原」作品コンクール 表彰式
	15:45	松原の厄介者"クズ"で「ツルかご」をつくろう！ 実演：河岡 裕 (一財)日本緑化センター 事務局長
	16:55	開会あいさつ
※敬称略。内容は変更になることがあります		
お問い合わせ	(一財)日本緑化センター 企画広報部 担当：小山（こやま）・吉宮（よしみや） TEL：03-3585-3561 FAX：03-3582-7714 Email: matsusai@jpgreen.or.jp ○を@に変えて送信してください	
ダウンロード	・講座案内  PDF 1.43MB	

本講座は、一般財団法人ベターリビングが主催する「高田松原再生活動（ブルー＆グリーンプロジェクト）」の一環として実施するものです。



平成31年2月16日（土）、陸前高田市コミュニティホールにおいて、**第5回 高田松原再生講座**を開催しました。▶
開催案内とプログラムはこちら



熱心に聞き入る講座参加者のみなさま



ベターリビング 加藤参与

開会の挨拶は、（一財）ベターリビング 参与の加藤正宜氏が、

ブルー&グリーンプロジェクトを通して育てているクロマツ苗木を、2017年から松原に植え始め、2019年度までで約1万本を植樹し、引き続き保育のお手伝いをさせていただきたい

と伝えられました。



高田松原を守る会 鈴木理事長

次に主催者を代表して、NPO法人高田松原を守る会 理事長の鈴木善久氏が、

本日の講座は座学に加え、松原の厄介者「クズ」のつるでカゴを編む実演を予定している。次年度の植樹、除草作業に多くの市民の参加を得て、松原再生を着実に進めたい

と述べられました。



高田松原を守る会 阿部理事

続いて、守る会 理事の阿部重人氏から、

平成30年度に行った活動について説明がありました。

また、高田松原が市民全員の憩いの場となるための課題として、次の3点を掲げられました。

- ①市民への活動の周知徹底（HPの活用）
- ②会員の加入促進（次世代会員の育成）
- ③行政との連携

次年度は、4/21～5/19の間に4回の植樹を行い、6/8には白砂青松再生の会が開催されるなど、今後の活動予定も紹介されました。

平成30年度の活動内容

平成30年度、高田松原を守る会では、大きく分けて4つの活動を行いました。

1) 5回の植樹活動



下表のとおり、計5回の植樹を実施しました。

この植樹活動は、ベターリビングのブルー＆グリーンプロジェクトにより苗が提供され、日本緑化センターの技術指導の下に実施しました。

実施日	参加人数 (会員)	参加人数 (ボランティア)	参加人数 (合計)
04月08日	10名	150名	160名
04月20日	4名	シンガポールの方々 16名	20名
04月22日	12名	188名	200名
05月13日	14名	125名	139名
06月03日	13名	250名	263名
合計	53名	846名	899名

※事前準備（計6日間）には、会員31名 ボランティア58名 計89名が参加

2) 高田松原、マツ苗畑での草刈り作業



下記のとおり、草刈り作業を実施しました。

実施場所・日数	参加人数 (会員)	参加人数 (ボランティア)	参加人数 (合計)
高田松原・20日間	126名	819名	945名
小友のマツ苗畑・10日間	26名	348名	404名

作業にあたっては、以下の学校のみなさまにご協力をいただきました。

- ①県外高校 神奈川県新栄高校
- ②県内高校 盛岡第二高校
- ③支援学校 一関清明支援学校・盛岡峰南高等支援学校
- ④県内小中学校 北上北中・和賀西中・巖美中・磐井中・興田中・一関一高付属中・一関金沢小
- ⑤市内小中学校 高田東中（2回参加）・気仙小

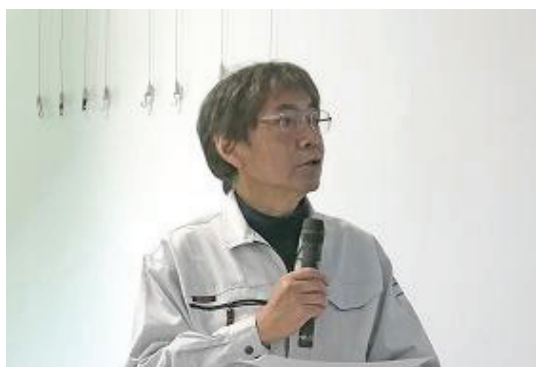
3) タケの伐採と加工（苗の支柱、防草シート固定用のタケ串）、防草シートの裁断

来年度のマツ苗植樹の際は、新たに「一本一本の松苗に防草シートを張る作業」が加わります。そのため、今年度はその作業に備えて以下の作業を行いました。

- ①タケを伐採して、松苗の支柱（本数分）に加工する
 - ②タケを伐採して、シート固定用ピンに加工する
 - ③防草シートを70cm四方に切る
- ※11月14～20日（7日間）に作業。会員21名、ボランティア22名 計43名参加

4) その他の活動

- ①2018/11/25 **高田松原見学会**（高田市民150名参加）
- ②**各種講演会**などの実施
 - ・2018/05/15 ロータリークラブ例会「高田松原再生の取組」
 - ・2018/05/16 千葉県鎌ヶ谷市で陸前高田の松の植樹式
 - ・2018/08/03 県理科教育研究会で守る会の活動紹介
 - ・2018/08/31 八幡平市立西根中学校の取材対応
 - ・2018/09/20 花巻市立東和中学校「生き方学習」で講和
 - ・2018/10/20 気仙小学校学習発表会「高田松原ものがたり」発表
 - ・2018/11/30 米崎小学校道徳授業公開で「高田松原の由来」導入
- ③2018/08/13 **三陸ジオパークけせん協議会** に加入
- ④2018/12/16 国土交通省 **手づくり郷土賞** を受賞
- ⑤2018/12/19 **高田松原を守る会10周年記念誌** を発刊
- ⑥2019/02/16 **高田松原再生講座**（含「高田松原作品コンクール」表彰式）



日本緑化センター 瀧理事

更に、当センター・瀧理事からは、最近話題の「ヤギによる除草の試み」について情報を提供しました。

続いて、講演に移り、

認定NPO法人環境パートナーシップいわて 代表理事の野澤日出夫氏から

「豊かに生き延びるコミュニティー」

ゆりりん愛護会会長の大橋信彦氏から

「ゆりりんの森から～海岸林再生と市民活動」

森林総合研究所東北支所 主任研究員の小野賢二氏から

「高田松原の再生事業地における植栽木の成長」

について、それぞれ解説をいただきました。



環境パートナーシップいわて 野澤代表理事

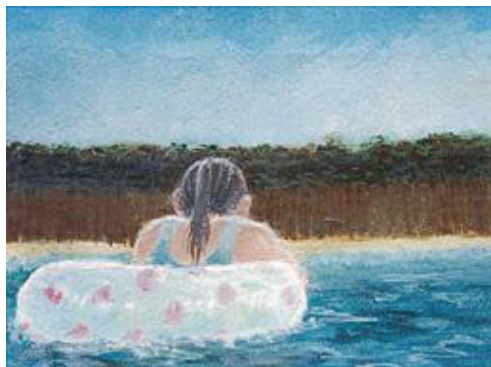


ゆりりん愛護会 大橋会長



森林総合研究所東北支所 小野主任研究員

この後、「第3回 わたしの高田松原」作品コンクール入賞作品の発表が行われました。応募作品95点から、美術部門（絵画、絵手紙）15点、文芸部門（短歌、俳句、川柳、詩、作文）28点、合計43点の作品が入賞し、当日参加した延べ31人が表彰されました。



コンクール作品（特別賞）
「いつかの眺め」高田高校2年 大友梓紗さん



賞状を受け取ったコンクール入賞者



「ツルかご」づくりの様子

続いて、「松原の厄介者"クズ"で『ツルかご』をつくろう！」が行われました。

当センター・河岡事務局長の指導により、約10名の希望者と共にかごづくりが実演され、予定時間を延長し何とか完成にこぎつけました。

『ツルかご』づくりは好評を得たので、次年度も行う予定です。

最後に、高田松原を守る会・小山副理事長が閉会の挨拶を行い、約100名にご参加いただいた講座を終了しました。

この講座は、毎年1回行う予定です。